

□議員名：会派 市民ネット 矢田 松夫

1 30年度施政方針について

論点	市長の政治信条が施政方針に、どのようにあらわれているのか。
回答	市政運営では、状況の変化によって多様な変更を追われるとき、適切な決断と柔軟な対応をしていくことが、リーダーに求められており強い志をもって取り組んでいく。

論点	にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクトについて、名ばかりではないか。
回答	4年間で実施していく施策であり、様々な検証をするなかで進めていきたい。

論点	焼野海岸一体の観光地化よりも、観光ビジョンを具体化させ、各重点エリアでのアクションプランの再検証を先にすべきではないか。
回答	数多くある資源のなかから、第一弾として焼野海岸一帯を観光地として確立することが、市全体の観光の推進につながると思う。

論点	課長提案制度について、実証は誰が行うのか。事業の継続性はどうか。
回答	市長の発案として当面31年度までの2年間とする。職員の人材育成を目標として、提案された事業の継続については、事務事業評価を行う中で決めていきたい。

論点	組織の名称変更により、職員の奮起をどのように促すのか。
回答	市民にとって親しみわかりやすいと言う改変理由であり、変更により直接職員の奮起を促すことはない。課の変更については、よりわかりやすい名称とし、2～3の課を名称変更していきたい。

論点	組織名称の変更よりも、市職員の労働条件改善が先ではないか。
回答	機能的に動く組織、職員が働きやすい組織が大前提である。サービ

	ス残業についても、職員が働きやすい職場体制をつくるのも管理の使命だと考えている。
--	--

論点	自主財源を確保するためにも効率的・計画的な財政運営について図ることが大事ではないか。
回答	財政運営にあたっては、限りある財源の有効活用を図るため、事業のスクラップ&ビルドや経営的観点からの行財政改革を推し進めながら、事業の選択と集中に努め、健全経営をおこなっていく。